



シリーズ発達障害③ LD(学習障害)

ってなあに？



SLD(限局性学習症)

LDは Learning Disorder の略で、日本では学習障害と訳されています。(現在では SLD：限局性学習症と言われます)
 知的発達に遅れはありませんが、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」といった能力のうちのいずれかに、習得や使用で著しく困難を示す状態を指します。その原因として脳に何らかの機能障害があると考えられています。
 特性の現れ方は人それぞれで、一つの場合も、複数が組み合わさっている場合もあります。

多く見られるのは、「読む」ことや「書く」ことでの困難、算数でのつまずきの一因となる「計算する」「推論する」ことの困難さです。

「読む」ことの困難

①文字を正しく読むことが苦手

- ・「わ」と「ね」など形の似た文字が分かりづらい
- ・促音「っ」や拗音「ゃ」「ょ」、長音「ー」が苦手
- ・漢字の訓読み又は音読みしかできない

②発音をすることが苦手

- ・「とうふ」を「とふう」と読む

③スムーズに読むことが苦手

- ・文字や単語、行を抜かす
- ・一字ずつ拾って読む
- ・適当に文末を変える
- ・単語や文節の途中で区切る

④音読は出来ても意味が理解できない



「書く」ことの困難

①文字を正しく書くことが苦手

- ・漢字の“へん”と“つくり”を間違える
- ・鏡文字になる
- ・書き順の間違が多い
- ・バランスの取れた文字を書くことが難しい

②単語を書くことが苦手

- ・理解していても、誤字が混ざる

③文章を書くことが苦手

- ・助詞（てにをは）など文法的な誤りが多い
- ・字を書くことに努力が要るので長文は難しい
- ・板書に時間がかかる、または写せない



123

「計算する」ことの困難

- ① 数字の位取りが分からない
 - ・ 2桁以上の計算が難しい
- ② 繰り上がりや繰り下がりが分からない
- ③ 九九を覚えても計算に使えない
- ④ 暗算ができない



「推論する」ことの困難

- ① 算数の応用問題や証明問題、図形問題が苦手
 - ・ 知識を用いて答えを導くことが難しい
 - ・ 数式と図形を結びつけて考えることが難しい
- ② 結果の予測や想像が苦手
- ③ 長文読解が苦手



残りの2つの特性についても、簡単にご紹介します。

「聞く」ことの困難：聞き取り・書き取りが苦手、聞き間違いが多い、復唱が苦手、会話が理解しづらい など

「話す」ことの困難：道筋を立てて話すのが苦手、文章にまとめて話すのが苦手、別の言い回しにできない、 など

学習障害は、特定の分野が苦手なことを除けば、基本的には発達の遅れは見られません。

小学校に入ってから、国語だけが苦手、算数だけが苦手、と特定の教科で成績が伸びず気づかれることも多いです。

また、苦手な分野以外は、問題なく行うことができます。

そのため、「がんばればできる」「努力が足りない」「勉強不足」と周囲から言われたり、見過ごされたりすることもあります。

授業を受けていて、また生活の中で、困ることがあるな…と感じていたら、こころの支援室でも一緒に工夫や対応策を考えることができますよ。お気軽にいらしてくださいね。

参考：ASD、ADHD、LD女性の発達障害、宮尾益知 監修，河出書房新社

親子で理解するLDの本 LD（学習障害）の子どもが困っていること，宮尾益知 監修，河出書房新社

